
幼・小・中学校教育指導の重点

—— 一人一人を見つめ、育てる ——

令和8年度

富山県教育委員会

一人一人を見つめ、育てる

学習は、本来、一人一人に成立することを前提とするものである。指導に当たっては、一人一人のものの見方、考え方、感じ方、願いを大切にしなければならない。

一人一人とは、独自の個性をもった、かけがえのない存在であり、みんなの中にある一人である。したがって、一人を見つめることは、他の多くの一人一人とのつながりを見つめることである。

見つめるとは、一人一人の活動や学習の軌跡を継続的に見続け、教育的観点から捉え直すことである。

育てるとは、見つめ、捉え直したことを基にして、一人一人の可能性を探りだし、個々にとっての望ましい方向を求め、個に応じた指導の手立てを講ずることである。



幼・小・中学校教育指導の重点

－ 一人一人を見つめ、育てる －
令和8年3月 発行

著作・発行 富山県教育委員会
富山市新総曲輪1-7